

校長室から感じたままに No14

2024年、辰年の幕開けです。

1月9日、子供たちが元気に登校してきました。その顔からは充実した冬休みを過ごしたことがうかがえました。しかし、今年は能登の地震なども起こり、登校できない子供たちもたくさんいるという映像を目にしました。それを思うと胸が詰まる思いがしますが、私たちは今できることを精一杯やるのが大事だということを子供たちにも話しました。皆さんの親せきや知り合いなどに被害はなかったでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。

その頃、サッカーの全国大会が行われ、わが船橋の代表である市船が被害にあった石川県の星稜高校と対戦しました。応援団が駆け付けられない星稜高校に市船は応援のメッセージとメガホンを送ったということがニュースになっていました。そのほかにも全国からたくさんの応援が寄せられたそうです。

勝敗が決まる勝負の世界ではありますが、相手の気持ちに寄り添って物事を考えられる高校生たちは素晴らしいと思いました。七林小学校の子供たちにもそんな風に相手に寄り添うことができる子、そして良いと思ったことを自分なりに考えて行動にできる子になってほしいなと思いました。

1月から3月までは現在の学年のまとめの時期でもあり、次の学年への準備の時期でもあります。子供たちが自信をもってまとめや準備ができますよう、ご家庭でも声掛けをお願いします。

今年も笑顔溢れる1年にしたいと思いますのでどうぞよろしくをお願いします。